

PRESS RELEASE

2022/6/1

株式会社リッツウェル



 Salone
del Mobile
Milano

Salone del Mobile. Milano 2022

会期:6/7(火)～6/12(日)

出展場所:Hall5 D-10

展示面積:W20,500×D7,500 / 153.75 m2



ミラノサローネ 2022 出展 | Fiera Milano, RHO HALL 5 D-10

リッツウェルはイタリア・ミラノで開催されるミラノサローネ国際家具見本市に出展します。

2008年の初出展から今年で12回目を数え、2019年同様、世界を代表するラグジュアリーブランドがひしめくデザインホール5への出展となります。

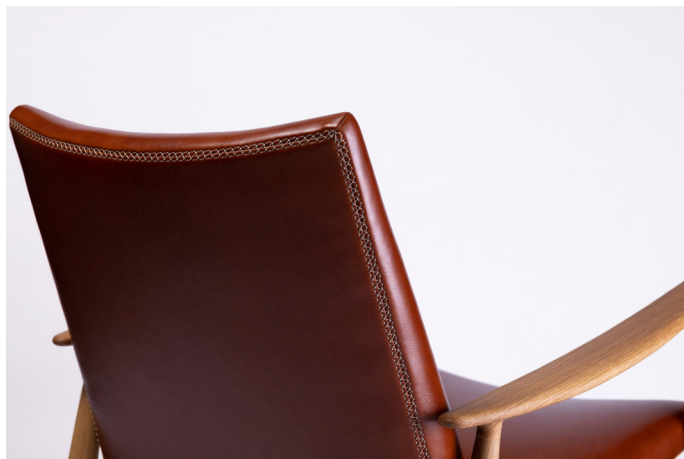
1992年に福岡に創業したリッツウェルは、国内では福岡・大阪・東京、国外ではイタリア・ミラノに拠点があります。2019年には本社のある福岡に、新たに自社工場「糸島シーサイドファクトリー」を設立し、創業30周年を迎えた2022年1月には東京・北青山に初の路面店「表参道 SHOP & ATELIER」をオープンしました。

これまでのリッツウェルの歩みは、日本の家具ブランドの世界への挑戦でもあり、永く愛される「家具」とは本来どうあるべきものかを深く追求し続けた30年です。創業30周年を迎える2022年は、これまでの展示方法とは趣向を変え、リッツウェルの本質である「家具」そのものが熟練の職人たちの手によって作り出されていく様子を実際に御覧いただける体感型の展示空間を作りました。創業当時から変わることなく一貫して受け継がれてきたリッツウェルの思想を、世界が注目するステージでぜひご体感ください。

特別仕様 “30th Anniversary Limited Edition”

— 糸島工場の職人により手縫い作業を展示ブース内にて公開 —

創業 30 周年を記念して、素材の魅力を最大限引き出し、随所に職に技が際立つ 2 つの商品において、特別仕様の “30th Anniversary Limited Edition” を発表します。(国内での販売は未定)
展示ブース内では糸島シーサイドファクトリーの職人による手縫い作業を実際にご覧いただけます。



RIVAGE easychair

初期モデルの発売は 2009 年。その後数度のモデルチェンジを経て、現在はイージーチェア、アームチェア、ラウンジチェア、スツールという 4 タイプにて展開し、リッツウェルの中でも特に人気の高いアイテムです。

手や指に優しくなじむ木部フレームと体に自然とフィットするボディには、素材の豊かさと五感に訴えかける心地よさを感じていただけるはず。今回の特別仕様は、ボディの表側と裏側のレザーを縫い合わせる箇所を、通常のパイピングではなく職人の手縫いによって仕上げていくというものです。“ピッチ 4 mm を守る” という一分の隙もなく計算されたステッチ。従来の RIVAGE にさらに繊細さと温もりという、新たな魅力が加わります。



IBIZA FORTE easychair

リッツウェルが創業後初めてオリジナルデザインをシリーズ化した IBIZA FORTE シリーズより、イージーチェアを特別仕様で製作。アームのレザー部分の手縫いとあわせて、座面にもステッチを施しています。通常品の座面は、3 mm の厚革を座裏まで巻き込み二層に仕上げていますが、表と裏の厚革を職人の手縫いによって一層にすることで、フォルムは更にシャープな印象となり、傾斜が増した座面により、従来以上にゆったりと寛げるおらかさを纏います。

— ミラノサローネ期間中 展示会場にて抽選会を実施します —

ミラノサローネ 2022 の期間中のみ特別に製作する “30th Anniversary Limited Edition”。

福岡県・糸島シーサイドファクトリーの職人たちの手によって作られる限定品現品の抽選会を実施いたします。

■ “ RIVAGE easychair 30th Anniversary Limited Edition ” を 1 名の方へプレゼント

抽選の参加をご希望の方は現地にて会場スタッフにお声かけください。

EXHIBITION SPACE | HALL 5 D-10

今回も HALL 5 と 7 の間を通るメインストリート沿いにブースを構え、クリエイティブディレクター宮本晋作とイタリアのクリエイターチームによる、リッツウェル独特の世界観を表現します。

SHINSAKU MIYAMOTO 宮本晋作

代表取締役 兼 クリエイティブディレクター

国内、イタリアの家具メーカー勤務を経て現在に至る。同社チーフデザイナーとしてプロダクト、グラフィック、インテリアのアートディレクションを手掛ける。これまでに数多くの商品をミラノサローネで発表。

1978 年福岡生まれ 九州産業大学建築学科卒業後、飛騨高山にて家具の製作に携わる。25 歳で単身渡伊。

イタリアのクラシック家具を製作する工房にて修行し、帰国後、独学で家具のデザインを始める。2005 年リッツウェルに入社しデザイナーとして活動する中、2018 年に代表取締役兼クリエイティブディレクターに就任。2017 年以降、「iF design award」、「German Design Award」、「red dot design award」、「Archiproducts Design Award」など数々の世界的なデザイン賞を受賞。2019 年には 細やかに連続する日本の直線美をイメージさせる『蛇腹戸』を採用した「JABARA AV BOARD」において、「red dot design award」のプロダクト部門最優秀賞にあたる「Best of the Best」を受賞している。



Nicola De Ponti

建築家・デザイナー

イタリアの Flavio Albanese スタジオとスペインの Flavio Albanese で実績を積んだ後、プロとしての独自の活動をミラノで本格化させた。現在はアントニア・アストーニ氏 (AstoriDePontiAssociati) と連携しながら、住宅、インテリア、リเทล、展示会の各プロジェクトに注力し、工業デザイナーとして多大な成功を収めている。サステナブルな建築における彼の実験的プロジェクトである「グリーン・フレーム・ハウス (緑のフレームの家)」は「Abitare il tempo」(2010) に向けて製作された家具であり、「ADI Design Index 2011」に選ばれた後、2012 年には「Review of Lombard architecture under 40」のデザイン賞に向けた「Consulta Regione Lombardia」によるセレクションにも選ばれた。これまでにミラノ工科大学、ドムス・アカデミーで講師も務めている。



Ritzwell

1992 年、福岡で創業した「リッツウェル」。

創業時から世界を見据え、ミラノサローネ出展など積極的に海外活動を展開。

その上質なデザインと日本ならではの繊細な手仕事により生み出される製品は、ドイツ iF デザイン賞、RED DOT 賞をはじめ、世界的に権威のある

デザインアワードの数々を受賞。また、海外のプロユーザーからの評価も高く、

国内外のラグジュアリーホテルやリゾート、レジデンスなど、数多くの納品実績を持つ。

本社所在地：812-0888 福岡県福岡市博多区板付 5-2-9

【本リリースに関するお問合せ先】

※取材のお申込み、商品画像の使用についてもこちらにお問合せください

■株式会社リッツウェル 表参道 SHOP & ATELIER
〒107-0061 東京都港区北青山 3-4-3 ののおおやま 1F
TEL: 03-3423-2929

広報：

若山 良子 mail : wakayama@ritzwell.com



www.ritzwell.com